

## シリーズ「放課後子ども教室推進事業」 初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン掲載）

### 【第62回】

#### ～埼玉県さいたま市の取組の紹介～

埼玉県さいたま市立与野本町小学校長 新井 晴 雄

学校週5日制が完全実施されてから、その支援活動として、さいたま市では学校独自に放課後や土曜日を利用して「子どもの居場所づくり」に取り組み始めました。平成21年度より市の事業の一環として「土曜チャレンジスクール」と「放課後チャレンジスクール」の活動が始まりました。本校は、さいたま市中央区の推進モデル校として、放課後と土曜日にチャレンジスクール『本町 E-N A（いーな）』をスタートさせました。スタッフに関しましては、保護者やPTA役員、地域の方々の協力を得て、子どもたちの居場所づくりに積極的に取り組んでいます。スタートして2年間で経過しましたが、スタッフの協力体制も徐々に整備され、スムーズな運営が図られております。

「本町E-N A」のある放課後は、1年生から6年生まで80名程度の子どもたちが、2つの会議室を使用して、自主学習やスタッフによる活動計画に従って、楽しく活動しています。主に前半は自主学習を中心として勉強に取り組んでおり、後半になると、体育館を使用しての運動や会議室を使つての物づくりやゲーム遊び等の活動に移ります。

子どもたちは、自分の選んだ活動に夢中で取り組んでいて、活動が終わると、満足そうな笑顔を見せて、集合場所である会議室に戻ってきます。各学年の子どもたちが混じつての活動で、高学年が低学年の面倒を見ながら、地域の大人に様々なことを教わり、見守られる、昔の寺子屋を思わせる活動風景に出会つたような気がします。最近の小学生は塾や習い事が多く、一緒に子どもたち同士が活動する場面が少なくなってきました。「本町E-N A」を通して活動することは、子どもたちの人間関係力やコミュニケーション力を培う場として、大いに役立つのではないかと期待しております。

（初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン）第202号に掲載）